

## 平成16年度事業の経過

### 1：事業の経過

#### (研究会の展開方法)

本年度は、前年度は、啓蒙あるいは方法論、周辺領域などについての研究会であったが、それらの成果および問題提議を受けて、より深く掘り下げた内容で研究会を開催した。第5回は、大学が所在する地方公共団体である高梁市教育委員会の森宏之氏に依頼し、本事業の目標である「地域貢献」を実行するにはどのようなことが必要かを討論した。第6回は「文化財情報学」と関連するテーマを研究されている、(財団法人)野村美術館の谷晃氏に依頼し、「茶会記」のデータベース化での成果や問題点などを討論し、「文化財情報学」を再認識した。

#### (修復展)

文化財修復国際協力学科と共催で、修復部門の成果発表を展覧会として11月3～28日に期間開催した。学術フロンティアの事業として、11月23日に油彩画修復について、所蔵者(依頼者)、研究・修復に詳しい学芸員、修復家の三者で講演をし、その後、ディスカッションで、油彩画修復について深く討論を行った。

#### (受託研究・シーズ育成事業等)

経済産業省・経済産業局が募集する、「地域新生コンソーシアム研究開発事業」に応募するための前段階として、平成16年度産学官シーズ育成事業に「可搬型ラマン分光非破壊分析装置の開発」(研究代表者：下山 進)が採択された。本育成事業は、4回にわたり、事業に参加する企業との勉強会を通じて、応募書類・研究体制の準備を行う事業であり、年度終了後、平成17年度「地域新生コンソーシアム研究開発事業」に応募する予定である。

### 2：事業の概要

#### <研究会・展覧会・シンポジウムの開催>

##### ・第5回研究会

日 時：平成16年4月24日(土)

場 所：吉備国際大学13号館文化財共同研究室

発 表：「高梁市における文化財保護の取り組み」

発表者：森 宏之氏(高梁市教育委員会)

高梁市にある備中松山城保存事業や街並み保存事業などの文化財保護事業の現状と今後の行政としてのあり方について検討。

司 会：山内利秋氏

##### ・第6回研究会

日 時：平成16年9月25日(土)

場 所：吉備国際大学13号館文化財共同研究室

発 表：「『茶の湯』の記録にみる史料の情報化」

発表者：谷 晃氏(野村美術館 学芸部長)

日本の代表的古典芸能である茶の湯の記録、「茶会記」には多くの情報が詰め込ま

れている。それらをパソコンに入力し、データとして解析すると、これまでの文献や伝承を中心にした方法論では見えなかったことが多く得られる。今回の発表では、茶会記データベースの構築と問題点、それから得られた二三の具体例などを示し、発表後に行われるディスカッションの材料を提供。

司 会：馬場秀雄氏

#### 展覧会「よみがえる文化財」

期 間：平成16年11月3日（水）～平成16年11月28日（日）

場 所：加計美術館

出品者：大原秀之、鈴木英治、馬場秀雄、下山 進

#### シンポジウム「よみがえる文化財－油彩画の場合－」

日 時：平成16年11月23日（火）

場 所：倉敷国際学术交流センター

趣 旨：日本に西洋の油彩画が紹介されてすでに百数十年が経ち、また近年では欧米の優れた絵画作品紹介の展覧会も多数開催されている。そのような状況のもと、今日美術作品に強い興味を持つ人々は多数いるが、彼らが鑑賞している作品が実は絶え間ない保存のための努力と、長い年月の間に繰り返された修復によって美しい姿を保ちそこに存在していることを意識する人は少ない。油彩画修復の実際が紹介される例は少ない。数少ない紹介の例でも修復の表層、ともすれば高度な手業を強調した紹介にとどまり絵画修復について正しいイメージを持つ人はごく少数である。本シンポジウムの主眼は、油彩画修復の技法のみならず、近代におけるその理念・倫理、また修復を通しての絵画研究の発展などを含む、総合的紹介を行うことにある。また修復は単に修復家の作業のみで完結するのではない。本シンポジウムでは、作品の発注者である美術館から作品の管理者としての考える絵画修復、あるいは利用（展示）と修復というような幅広い視点での検討を試みる。

発 表：「油彩画修復の倫理－児島虎次郎作品修復を通して」

大原秀之氏（吉備国際大学文化財総合研究センター 研究員・吉備国際大学社会学部教授）

「児島虎次郎の質感表現－東京芸術大学所蔵品を中心に－」

田中善明（三重県立美術館 学芸員）

「美術館活動における絵画修復」

渡辺浩美（高梁市成羽美術館 学芸員）

#### パネルディスカッション

パネラー：大原秀之氏、田中善明氏、渡辺浩美氏、守田 均氏（財団法人大原美術館 主任学芸員）、下山 進氏

コーディネーター：白井洋輔氏

---

司 会：馬場秀雄氏

受託研究

- ・「瀬戸町郷土館収蔵の写真資料をクリーニングおよびデジタル化」  
実施期間：平成16年10月1日～平成16年3月31日  
発注者：岡山県赤磐郡瀬戸町
- ・「高梁市所蔵 吉田初三郎筆 『観光鳥瞰絵図面』修復」  
実施期間：平成16年10月1日～平成17年3月18日  
発注者：高梁市教育委員会

シーズ育成事業研究会

- ・第1回  
日 時：平成16年7月22日（木）13時～17時  
場 所：吉備国際大学文化財総合研究センター
- ・第2回  
日 時：平成16年10月7日（木）13時30分～17時  
場 所：高梁学園教育交流センター
- ・第3回  
日 時：平成16年12月22日（水）13時～15時  
場 所：高梁学園教育交流センター
- ・第4回  
日 時：平成17年2月21日（月）13時～17時  
場 所：吉備国際大学文化財総合研究センター



# 吉備国際大学文化財総合研究センター研究員の業績リスト

(2004年4月1日－2005年3月31日)

研究員は50音順で研究活動歴は次のように分類した。

- I 著訳書；著書の名称、単・共著の別、担当頁、発行年月日、発行所
- II 学術論文；論文の題名、単・共著の別、発表雑誌の名称、巻・号、掲載頁、発行年月日
- III その他（学会発表・修復実績・図録執筆等）

うすい ようすけ  
臼井 洋輔

## I 著訳書

- 1) 『岡山の文化財』、単著、平成16年5月11日、吉備人出版、日本図書館協会選定図書に選ばれる
- 2) 『岡山の宝箱』、共著、pp1-pp172、平成16年7月21日、日本文教出版社

## II 学術論文

- 1) 「岡山県の博物館」、単著、『文化財情報学研究』、第2号、平成17年3月31日
- 2) 「古代鑄造ビーズ製作技法の研究」、単著、『文化財情報学研究』、第2号、平成17年3月31日

## III その他

(図録)；名称、単独・共著の別、発行年月日、発行所

- 1) 『三代楽山の作品と自然観識』、共著、平成16年6月1日、天満屋
- 2) 『備前 伊勢崎淳』、共著、平成17年1月1日、山陽新聞社

(公開講座)

- 1) 「岡山後楽園の設計意図」平成16年6月5日、主催 吉備国際大学公開講座

(受賞)

- 1) 福武文化賞、受賞年月日 平成16年7月2日 ベネッセ

おおはら ひでゆき  
大原 秀之

## III その他

(修復実績)；名称、単独・共同修復の別、作品の種類・修復期間、依頼機関

- 1) 山本森之助「灯台」、単、油彩画、平成15年10月—平成16年5月、宮内庁所蔵
- 2) 児島虎次郎「松林」、単、油彩画、平成16年6月—10月、岡山県成羽町美術館所蔵
- 3) 児島虎次郎「ブリュージュ船宿」、単、油彩画、平成16年6月—10月、岡山県成羽町美術館所蔵
- 4) 児島虎次郎「和服を着たベルギーの少女」、単、油彩画、平成16年6月—10月、岡山県成羽町美術館所蔵
- 5) 児島虎次郎「花鋏を持つ婦人」、単、油彩画、平成16年6月—10月、岡山県成羽町美術館所蔵

(学術講演)；講演題目、単独・共同の別、講演年月日、講演会名（場所）

- 1) 「油彩画修復の倫理—児島虎次郎作品の修復を通して—」、単、平成16年11月23日、吉備国際大学文化財総合研究センター学術フロンティアシンポジウム「よみがえる文化財—油彩画の場合」（加計学園倉敷国際学術交流センター）

(展覧会)；名称、単独・共同の別、期間、場所

- 1) 「よみがえる文化財～美術作品の修復現場から～」、共、平成16年11月3日—28日、学校法人 加計学園・学校法人高梁学園 加計美術館  
(図録執筆) ; 名称、単・共著の別、発行年月日、発行所
- 1) 「華麗なるマイセン磁器」、共、平成16年12月、東京新聞
- 2) 図録及びDVD 「よみがえる文化財～美術作品の修復現場から～」、共、平成17年3月31日、吉備国際大学
- 3) 「文化財修復技術のデジタル・アーカイブ (西洋美術品の修復技術)」、共、平成17年3月31日、文化庁 (総務省連携)

しもやま すすむ  
下山 進

### I 著訳書

- 1) オンデマンド授業コンテンツ「文化財から学ぶ歴史と化学～文化財を探るサイエンス～」、単著、平成16年10月1日、吉備国際大学・早稲田大学共同

### II 学術論文

- 1) 「文化財非破壊分析から得られた情報を化粧品開発に活かす」、単著、『文化財情報学研究』、第2号、平成16年3月31日

### III その他

(学会発表) ; 発表題目、単独・共同の別、発表年月日、発表学会名 (場所)

- 1) 「可視～近赤外分光反射スペクトルによる浮世絵版画『富嶽三十六景』に使用された青色着色料の非破壊同定」、共、平成16年6月12日、第26回文化財保存修復学会大会 (奈良)
- 2) 「プルシャンブルー導入過程における広重と北斎」、共、平成16年11月28日、第9回国際浮世絵大会 (東京)

(学術講演) ; 講演題目、単独・共同の別、講演年月日、講演会名 (場所)

- 1) 「富嶽三十六景～浮世絵版画を非破壊分析する～」、単、平成16年6月19日、出光コレクション「肉筆浮世絵名品展」記念講演 (山口県立萩美術館・浦上記念館)
- 2) 「文化財非破壊分析から得られる情報を新製品開発に活かす」、単、平成16年10月21日、第12回地域を活かす科学技術政策研究会 (全日本地域研究交流協会・岡山県・岡山県産業振興財団・科学技術振興機構)
- 3) 「日本の浮世絵版画に見られる青色着色料の非破壊分析」、単、平成15年11月9日、第28回 文化財の保存および修復に関する国際研究集会 (独立行政法人文化財研究所 東京文化財研究所)
- 4) 「オンデマンド授業『文化財から学ぶ歴史と科学』の実践と今後の展開」、単、平成17年1月13日、オンデマンド授業流通フォーラム第3回設立準備研究会 (立命館大学)
- 5) 「早稲田大学とのオンデマンド授業共同実験」、単、平成17年2月4日、岡山大学・吉備国際大学合同シンポジウム「e-Learningによる“教育の情報化”」(岡山大学)
- 6) 「文化財非破壊分析から得られた情報を化粧品開発に活かす」、単、平成17年2月19日、第1回 高梁学園学術研究コンファレンス (九州保健福祉大学)

(展覧会) ; 名称、単独・共同の別、期間、場所

- 1) 「よみがえる文化財～美術作品の修復現場から～」、共、平成16年11月3日—28日、学校法人 加

---

計学園・学校法人高梁学園 加計美術館

(図録) ; 名称、単・共著の別、発行年月日、発行所

- 1) 図録及びDVD「よみがえる文化財～美術作品の修復現場から～」、共、平成17年3月31日、吉備国際大学
- 2) 「文化財修復技術のデジタル・アーカイブ (文化財科学分析調査)」、共、平成17年3月31日、文化庁 (総務省連携)

(学術研究会) ; 名称、単独・共同の別、実施年月日、主催

- 1) 可搬型ラマン分光非破壊分析装置の開発」、共、平成16年7月22日・10月7日・12月22日 & 平成17年2月21日 (4回開催)、(財) 中国技術振興センター

すずき えいじ  
鈴木 英治

### Ⅲ その他

(展覧会) ; 名称、単独・共同の別、期間、場所

- 1) 「よみがえる文化財～美術作品の修復現場から～」(古文書・古典籍の修復技術の紹介と展示解説)、共、平成16年11月3日-28日、学校法人 加計学園・学校法人高梁学園 加計美術館

(図録) ; 名称、単・共著の別、発行年月日、発行所

- 1) 図録及びDVD「よみがえる文化財～美術作品の修復現場から～」、共、平成17年3月31日、吉備国際大学
- 2) 「文化財修復技術のデジタル・アーカイブ (古文書・古典籍の修復技術)」、共、平成17年3月31日、文化庁 (総務省連携)

たかぎ ひであき  
高木 秀明

### Ⅱ 学術論文

- 1) 「Synthesis and electrochemistry of adducts of acetylene and acetylenedicarboxylic acid at sulfurs in sulfur-bridged nitrilotriacetato molybdenum clusters」、共、Comptes Rendus Chimie, Vol. 8, No. 3、平成17年2月
- 2) 「文化財と環境問題」、単、『文化財情報学研究』, 第2号、平成17年3月31日

### Ⅲ その他

(学会発表) ; 発表題目、単独・共同の別、発表年月日、発表学会名 (場所)

- 1) 「Syntheses and characterization of sulfur/oxygen-bridged incomplete-cubane-type molybdenum compounds with hydrotris(pyrazolyl) borate ligands」、共、平成16年7月、The 36th International Conference on Coordination Chemistry(メキシコ、メリダ市)
- 2) 「混合金属キュバン型Mo<sub>3</sub>FeS<sub>4</sub>骨格をもつヒドロトリス (ピラゾリル) ボレート錯体の合成と性質」、共、平成16年9月、第54回錯体化学討論会 (熊本)
- 3) 「ジチオリン酸を配位子とする硫黄架橋三核金属錯体とアセチレン誘導体との反応生成物の電気化学」、共、平成16年11月、第50回ポーラログラフおよび電気分析化学討論会 (京都)
- 4) 「ヒドロトリス (ピラゾリル) ボレートを配位子とする硫黄/酸素架橋三核モリブデン錯体の合成と性質」、共、平成16年3月、日本化学会第85回年会 (横浜)

(学術研究会) ; 名称、単独・共同の別、実施年月日、主催

- 1) 「可搬型ラマン分光非破壊分析装置の開発」、共、平成16年7月22日・10月7日・12月22日 & 平成17年2月21日 (4回開催)、(財) 中国技術振興センター

ばば ひでお  
馬場 秀雄

### Ⅲ その他

(修復実績) ; 名称、単独・共同修復の別、修復期間、作品の種類、依頼機関

- 1) 中国版画、単、平成16年4月－12月、版画、王舎城宝物館
- 2) 風景画、単、平成16年5月－平成17年3月、新画、太田記念美術館
- 3) 人物画、単、平成16年5月－11月、新画、篁牛人記念美術館
- 4) 韓国民画、単、平成16年10月－平成17年3月、文字図、高麗美術館
- 5) 韓国山水図、単、平成16年10月－平成17年3月、山水図、高麗美術館
- 6) 韓国山溪図、単、平成16年10月－平成17年3月、山溪図、高麗美術館
- 7) 花卉草虫図、単、平成16年10月－平成17年3月、韓国画、高麗美術館
- 8) 十六羅漢図、単、平成16年10月－平成17年3月、古画、安江金箔工芸館
- 9) 一行書、単、平成16年10月－平成17年3月、墨跡、野村美術館
- 10) エッチング、平成16年10月－平成17年3月、版画、高松市美術館
- 11) 鳥瞰図、単、平成16年9月－平成17年3月、絵地図、高梁市郷土資料館

(図録) ; 名称、単独・共著の別、発行年月日、発行所

- 1) 図録及びDVD「よみがえる文化財～美術作品の修復現場から～」(東洋美術品の修復技術について解説)、共、平成17年3月31日、吉備国際大学
- 2) 「文化財修復技術のデジタル・アーカイブ」(東洋美術品の修復)、共、平成17年3月31日、文化庁(総務省連携)

(新聞掲載) ; 題目、掲載年月日、新聞社名

- 1) 「華麗なる楊貴妃の世界―大唐王朝 女性の美展座談会」2005年3月9日、山陽新聞
- 2) 「最新の修復設備見学 大唐王朝展中国関係者 吉備国際大学を訪問」2005年3月2日、山陽新聞
- 3) 「よみがえれ大正の広重 吉田初三郎の伯備沿線鳥瞰図 吉備国際大学で修復」2005年2月18日、山陽新聞
- 4) 「大唐王朝会場から 壁画を鑑賞する馬場教授とゼミ生」2005年3月3日、山陽新聞

(展覧会) ; 名称、単独・共同の別、期間、場所

- 1) 「よみがえる文化財～美術作品の修復現場から～」、共、平成16年11月3日－28日、学校法人 加計学園・学校法人高梁学園 加計美術館

やすだ しんいち  
安田 震一 (ウィリアム シャング)

### I 学術論文

- 1) 「Unveiling Exotic China: William Alexander' s Views of the Imperial City」、単、平成16年6月、*Heritage Asia*, vol. 1, no. 4, June-August, 2004, Malaysia, pp. 54-59
- 2) 「Charles Wirgman' s views of Japan from the late-nineteenth century」、単、平成16年9月、



---

*Heritage Asia*, vol. 2, no. 1, September-November 2004, Malaysia, pp. 85-88

3) 「Rediscovering Views of Northern China: Late 18th to 19th Century Winter Scenes」、単、平成17年3月、*Arts of Asia*, vol. 35 no. 2, January-February 2005, Hong Kong, pp. 90-101

4) Paintings of the Daniells, 単、平成17年、3月、*Heritage Asia*, vol. 2 no. 3, March-May 2005, pp. 68-73

### Ⅲ その他

(調査依頼)

1) 「Martyn Gregory Catalogue #80 Chinnery and the China Trade: Historical Pictures by Chinese and Western Artists 1770-1910」、調査担当、平成16年4月、Martyn Gregory Catalogue, London, UK and Hong Kong

(講演) ; 講演題目、単独・共同の別、講演年月日、場所

1) 「異文化コミュニケーション：その1－異なる文化を持つ者との融合について」、単、平成16年6月15日、総社南高等学校

2) 「異文化コミュニケーション：その2－異なる文化を持つ者との融合について」単、平成16年6月29日、総社南高等学校

3) 「日本における異文化教育：アメリカン・スクールの教育制度」、単、平成16年7月2日、岡山県教育庁

4) 「国際協力と留学生の貢献」、単、平成16年8月27日、留学生教育学会：東京



# 新聞各社の報道記事

## 名画と文化財巡り

大学教授や学生員が美術館、史跡巡りを案内します。吉備国際大(高梁市伊賀町)と高梁市観光協会は、生涯学習の付加価値を付けた新スタイルの「学習観光事業」として十一月に倉敷、高梁市で名画と文化財巡りの旅を行う。

学習観光は米國で熟年向けに人気。日本では試行段階で、大学がかかわるのは珍しい。東京の民間非営利団体「エルダー旅

吉備国際大と  
高梁市観光協

## 教授や学生員案内

倶楽部」と連携し、「倉敷・高梁訪問。大原、成羽町西美術館梁瀨座」の名称で、十一月三日で彦根家貞貞虎次郎の足跡をたから二泊三日の日程で行う。どろ、古川並みを散策するの初日は倉敷市本町の倉敷アイも魅力。

ビースクエアに集合。大原、加同大は「米國の学習観光は大計美術館で学生員案内から始まった。大学の資源を

を鑑賞し、吉備国際大教授から生かす、地域を活性化したい」

絵画修復の話聞く。二日目は、今後も新企画を検討中。本高梁市で同大文化財総合研究センター(高梁市伊賀町)の研究者が修復手がけた作品を並べている。修復がテーマの美術展は中西國では初めてという。

**来月、新スタイル事業**

修復した絵画や屏風などの文化財と、修復機材や過程を展示解説した「よみがえった文化財」の加計美術館で始まった。

西洋美術の文書、書籍▽東洋美術の分析の四コーナーがあり、吉備国際大文化財総合研究センター(高梁市伊賀町)の研究者が修復手がけた作品を並べている。修復がテーマの美術展は中西國では初めてという。

終日は同市の吹屋をめぐり、村を

●2004年10月24日 山陽新聞



## 芸術だ

### よみがえった文化財展示

倉敷・加計美術館  
修復技術も紹介

修復した絵画や屏風などの文化財と、修復機材や過程を展示解説した「よみがえった文化財」の加計美術館で始まった。

西洋美術の文書、書籍▽東洋美術の分析の四コーナーがあり、吉備国際大文化財総合研究センター(高梁市伊賀町)の研究者が修復手がけた作品を並べている。修復がテーマの美術展は中西國では初めてという。

と絵の具が、難たじ、色の再現も方法集めて、部分の真を再現している。機材も展示解説して、展示は、修復過程

制作は、無二八日、入無

「よみがえった文化財」は、油絵の着色は、二十二年、加計美術館(倉敷市伊賀町)で開かれた。

問い合わせは、加計美術館(0870-22-1111)。

●2004年11月4日 山陽新聞

「よみがえる文化財展」加計美術館へ

文化財の修復、科学分析をテーマとした展覧会「よみがえる文化財」加計美術館の修復現場から、八雲市中地区の文化財修復で知られている、のり平六文化財総合研究所（福地正博所長）が、個人が文化財を修復する際に必要な知識、技術、材料を広く紹介している。8日までは（月曜休館）。

**修復の最新技術紹介**

この展覧会は、のり平六文化財総合研究所が、個人が文化財を修復する際に必要な知識、技術、材料を広く紹介している。8日までは（月曜休館）。

スミエノの修復現場へ

「よみがえる文化財展」加計美術館へ

この展覧会は、のり平六文化財総合研究所が、個人が文化財を修復する際に必要な知識、技術、材料を広く紹介している。8日までは（月曜休館）。

●2004年11月4日 山陽新聞

**文化財修復の有効手段探る**

文化財の修復、科学分析をテーマとした展覧会「よみがえる文化財」加計美術館の修復現場から、八雲市中地区の文化財修復で知られている、のり平六文化財総合研究所（福地正博所長）が、個人が文化財を修復する際に必要な知識、技術、材料を広く紹介している。8日までは（月曜休館）。

**自制心や記録保存が必要**

文化財の修復は、科学分析をテーマとした展覧会「よみがえる文化財」加計美術館の修復現場から、八雲市中地区の文化財修復で知られている、のり平六文化財総合研究所（福地正博所長）が、個人が文化財を修復する際に必要な知識、技術、材料を広く紹介している。8日までは（月曜休館）。

●2004年12月24日 山陽新聞

## 美術作品修復家の仕事を極める

# 「無敵の」プロ修復家たち

岡山県立美術館の美術作品修復部は、県内最大規模の修復部だ。修復部員は、美術作品の修復に専念している。その仕事は、非常に繊細で、専門的な知識と技術が必要だ。



修復部員は、美術作品の修復に専念している。その仕事は、非常に繊細で、専門的な知識と技術が必要だ。

岡山県立美術館の美術作品修復部は、県内最大規模の修復部だ。修復部員は、美術作品の修復に専念している。その仕事は、非常に繊細で、専門的な知識と技術が必要だ。



## 絵紙を「滲染・治療」する

作品を米水へ浸ける技術

岡山県立美術館の美術作品修復部は、県内最大規模の修復部だ。修復部員は、美術作品の修復に専念している。その仕事は、非常に繊細で、専門的な知識と技術が必要だ。



岡山県立美術館の美術作品修復部は、県内最大規模の修復部だ。修復部員は、美術作品の修復に専念している。その仕事は、非常に繊細で、専門的な知識と技術が必要だ。

●2004年11月24日 岡山日日新聞

## 保存修復 大原教授に聞く

大原教授は、美術作品の保存修復に専念している。その仕事は、非常に繊細で、専門的な知識と技術が必要だ。

## 超一流の美術に触れる喜び



美術修復部の大原教授（左側、右側は記者）

大原教授は、美術作品の保存修復に専念している。その仕事は、非常に繊細で、専門的な知識と技術が必要だ。



●2004年11月24日 岡山日日新聞



「よみがえる文化財」展は7月17日から28日まで開催されています。

## 知られざる修復を紹介 倉敷の加計美術館

28日まで

倉敷市中央の加計美術館で、中蔵閣で初めて文化財の修復をテーマにした展覧会「よみがえる文化財―優秀作品の修復現場から」が開催されている。28日まで。西洋美術、東洋美術、古文書、分析鑑定の4コーナー。西郷国際文化財総合研究センター（高塚市伊賀町）の研究員らが修復した絵画や彫刻（びょうぶ）などの文化財と、修復現場や過程が展示されている。

●2004年11月24日 岡山日日新聞

## 文化財修復の成果を紹介

吉備園藝大が取り組む

### 倉敷 加計美術館でユニーク展示

文化財修復の成果をテーマにした展覧会「よみがえる文化財」が、倉敷市中央の加計美術館で開催されている。この展覧会は、西郷国際文化財総合研究センター（高塚市伊賀町）の研究員らが修復した絵画や彫刻（びょうぶ）などの文化財と、修復現場や過程が展示されている。また、修復現場の模様や、修復作業の様子も紹介されている。

この展覧会は、西郷国際文化財総合研究センター（高塚市伊賀町）の研究員らが修復した絵画や彫刻（びょうぶ）などの文化財と、修復現場や過程が展示されている。また、修復現場の模様や、修復作業の様子も紹介されている。



この展覧会は、西郷国際文化財総合研究センター（高塚市伊賀町）の研究員らが修復した絵画や彫刻（びょうぶ）などの文化財と、修復現場や過程が展示されている。

●2004年11月4日 毎日新聞

◆執筆者一覧(50音順)

- 臼井洋輔 (吉備国際大学文化財総合研究センター センター長・吉備国際大学社会学部 教授)  
内田智尚 (インフォコム株式会社)  
大社充 (エルダー旅倶楽部)  
大原謙一郎 (財団法人大原美術館 理事長・倉敷商工会議所 会頭)  
岡本明 (株式会社寿限無)  
長船勝巳 (前高梁市教育委員会 教育長)  
下山進 (吉備国際大学文化財総合研究センター センター長・吉備国際大学社会学部 教授)  
高木秀明 (吉備国際大学文化財総合研究センター 研究員・吉備国際大学社会学部 助手)  
フィリップメレディス (前オランダ・ライデン国立民族学博物館東洋文化財修理センター 所長、現在:アメリカ・ボストン美術館  
修復部長)  
三輪嘉六 (九州国立博物館 館長)  
森宏之 (前高梁市教育委員会)  
山内利秋 (吉備国際大学文化財総合研究センター 客員研究員・九州保健福祉大学社会福祉学部 講師)  
山本実 (倉敷紡績株式会社)

## 文化財情報学研究 第2号

(吉備国際大学文化財総合研究センター紀要)

発行日 平成17年3月31日  
編集・発行 吉備国際大学文化財総合研究センター  
〒716-8508 岡山県高梁市伊賀町8  
TEL.0866-22-9030 FAX.0866-22-9031  
E-mail/frontier@kiui.ac.jp  
印刷 山陽印刷株式会社





